

藍の生葉染め講座

夏に刈り取ったばかりの蓼藍の生葉を使ってストールを染めます。

生葉と水から揉み出した染液と食酢で色止めと発色を行うお身体にも安心な草木染め体験です。夏の期間しか染めることができませんが空色のような青はジャパンプルーという呼び名でも広く知られる草木染めです。ぜひ生葉染めをお楽しみください。

場所：西福寺

参加者の準備物：エプロン、お手拭き用のタオル

準備物：染用生地（シルク混紡の染色用ストール）

藍の生葉（300g×3班分）と予備葉 300g

水（1ボールにつき8ℓ程度）

食酢（1ボールにつき400ml）

ボール、ざる、絞り袋、ゴム手袋、水洗い用ボール、はかり、はさみ（葉を細かくするため）

※干場の設置

安全上のご注意：素手で染色をしますと皮膚や爪が青みがかってきてしばらく落ちないので、必ず手袋をご着用お願いいたします。

計画：9時受付・スタート・・・講師のみ準備

9時半 集合完了

9時40分 お勤め

10時00分 お勤め終了

10時20分 藍の生葉染め講座スタート

↓（1時間25分）・ストールを選んで頂く。

・葉から染液の最終準備と揉み出しの体験。

・ストールを染液に浸して染める体験。

11時45分 藍の生葉染め講座途中休憩

12時00分 軽食と談話（40分）

12時40分 藍の生葉染め講座再スタート

↓ (1時間20分)・ストールを染液に浸して染める体験。

- ・染色後のストールを水洗いする。
- ・干場に干す。
- ・簡単な片付け手洗いなど。
- ・日常のお手入れについてのご説明。

14時00分 藍の生葉染め講座終了

※藍染のおはなしのプリントを配布します。

※講座時間は計2時間45分(片づけを含んで3時間程度のコースです。)

詳しい手順：①生葉を計量し、絞り袋に入れる。(講師が2ボールつくる。あと1ボールを参加者の方に体験としてお願いします。)

②選んで頂いた布を水に浸しておく。(地入れ)

③ステンレスのボールに4ℓの水と食酢200mlの食酢を入れる。

④ボールの中で絞り袋を揉んで染液を出す。

⑤再びステンレスのボールに4ℓの水と食酢200mlの食酢を入れる。

⑥ボールの中で絞り袋を揉んで染液を出す。

⑦一つのボールに5名様により染谷にストールの布を浸しながら繰って頂く。

※空気中に出ないように染谷に浸しながら繰る。

※最低40分間から1時間程度は染めます。

⑧取り出して、1班ずつ水洗いをお願い致します。

⑨直射日光の当たらない風通しのよい場所で陰干しをお願いします。

YOKI SUN ART WORKS/藍染屋千丁

(ヨーキサンアートワークス/イゾメヤセンチョウ)

代表：有田有紀(ありたゆき)

略歴：美術家/パフォーマンスアーティスト

NPO法人国際自然大学校ディレクターコース修了

(群馬県・長野県・東京都・静岡県・千葉県・栃木県などの各所で自然体験プログラムを行う。)

前博物館ネットワークセンター草木染の会会長

熊本市現代美術館賞・くらしの工芸展入賞など

熊本県の助成を受けて八代市の藍草による衣のデザインを手がける。